

「金津祭りは神事のみ残して、竹田川屋形船と屋台の祭りに」

これは、皆さんの物凄い反感を買う意見だという事は分かっています。特に、今日までの3日間で、SNS上でも皆さんの熱気と団結であふれていますので、あわら市の多くの人の反感を買うでしょう。では、何でこんなことを書くか？私は日々多くの患者さんを診させていただいています。いろんな方といろんな話をしています。金津祭りも話題に出ます。もちろん、たくさんの人が楽しみにしていると思います。特に、各地区の区長さん等の有力者、青年団、商売に関連している方、祭りの準備はしないが帰省して祭りに参加のみをする人は声を大にして金津祭りの重要さを訴えます。しかし、多くの女性、一般男性はどうでしょうか？準備が大変なうえに、祝儀のお金を払わなくてはならない人もいて、そのお金もその人ではなく区の収入となります。そういった人々は、私と1対1で話すと、「実は祭りは負担が多いし大変でやりたくない」という人も少なくありません。しかし、公には「祭りは嫌だ」とは言えない雰囲気があります。私は、金津神社への畏敬、奉納の神事としての部分はもちろん精神的に金津の支柱でもあると推測しますので、残せばいいと思うのです。しかし、若い人が少ない今、子供、若い人のパワーを区外から借りて、山車を90万円くらい（？）かけて、区の持ち回りで行うというのは本当に現代にマッチしているのでしょうか？祭りは大事です、みんなの高揚感、まとまりという点で大事でしょう。そこで、あまりみんなに負担をかけず、楽しめるために、他の祭りは考えられないでしょうか？金津には竹田川があります。これは丸岡から流れています。私は、普段は、船かダックツアーで竹田川を水上交通として利用し、祭りの時にこれを屋形船とし、さらに川岸に屋台を設けた祭りはどうだろうと思うのです。みなさん、特に金津のみなさん、反対が多いことは覚悟しています。しかし、金津市民のサイレントマジョリティーの声を推測して、私は、「金津祭りは神事のみ残して、竹田川屋形船と屋台の祭り」にする事を提案します。